

平成30年度進行管理・評価シート
堺市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

（最終変更 平成31年4月12日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 (項目名) 歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 (項目名) 都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 (項目名) 百舌鳥古墳群整備事業 3

2 (項目名) 重要文化財高林家住宅保存修理事業 4

3 (項目名) 歴史的建造物保存修理事業 5

4 (項目名) 市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み 6

5 (項目名) 堺市地域文化遺産活用活性化事業 7

6 (項目名) ボランティアガイドの育成・支援 8

7 (項目名) 堺市地場産業振興事業補助事業 9

8 (項目名) 堺市伝統産業後継者育成事業補助事業 10

9 (項目名) 堺市ものづくりマイスター制度 11

10 (項目名) 視点場の整備に関する調査検討 12

11 (項目名) まちなみ再生事業 13

12 (項目名) 阪堺線停留場美装化事業 14

13 (項目名) 百舌鳥古墳群に関する情報発信 15

14 (項目名) 百舌鳥古墳群周辺案内板の整備 16

15 (項目名) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備 17

16 (項目名) 環濠都市区域内における案内板の改善 18

17 (項目名) 史跡・重要文化財等公開事業 19

18 (項目名) 自転車通行環境の整備 20

19 (項目名) 学校教育の場での茶の湯体験 21

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 (項目名) 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定 22

2 (項目名) 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業 23

3 (項目名) 文化財の防災 24

4 (項目名) 埋蔵文化財の取扱い 25

5 (項目名) 文化財に関する普及・啓発の取組み、
民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み 26

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 27

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 (項目名) 文化観光拠点整備事業関連の取組み 28

2 (項目名) 堺茶の湯まちづくり条例の制定 29

3 (項目名) 堺環濠活性化事業(堺環濠町づくり推進協議会との公民連携による取組み) 30

4 (項目名) 大道びと Plus more プロジェクト 31

5 (項目名) 子ども観光ガイドの実施 32

6 (項目名) 自転車タクシー走行実験の実施 33

7 (項目名) 「SAKAI散歩」の実施 34

8 (項目名) さかい歴史まちづくりフォーラムの開催 35

9 (項目名) リーフレット「堺の歴史的風致 まなびのススメ」の作成 36

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 37

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 計画実現のための推進体制として、歴まちづくり法第11条第1項に基づく「堺市歴史的風致維持向上計画協議会」を「堺市歴史的風致維持向上協議会」に改編し、事業の進捗管理や連絡調整、計画変更に関する協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年10月に幹事会を開催し、平成30年度の取組み状況を確認したほか、平成31年度の予算要求も踏まえた事業予定について情報共有・意見交換を行った。
 また、平成31年1月から3月にかけて幹事会、推進会議及び協議会を開催し、平成30年度の進捗状況の確認等を行った。
 ○平成30年10月11日 推進会議幹事会開催、平成31年1月30日 推進会議幹事会開催
 ○平成31年2月8日 推進会議開催、平成31年3月25日 協議会開催

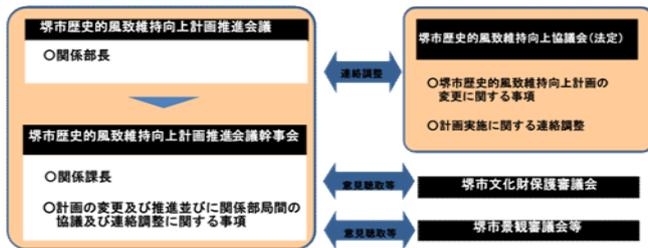
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○庁内の推進体制



○平成30年度取組スケジュール

平成30年度				平成31年度
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
各事業の実施				事業実施
平成30年度取組み確認(ほか)	次年度の事業予定(ほか)(予算要求への反映)	平成30年度進捗評価の確認(ほか)	平成30年度進捗評価の提出	
■担当者会議	■担当者会議	■幹事会	■推進会議	■向上協議会
		●11/24 第4回近畿歴史まちづくりサミット(溝津町開催)	●2/3 さかい歴史まちづくりフォーラム	

○堺市歴史的風致維持向上計画推進会議及び協議会の開催



第1回推進会議幹事会(平成30年10月11日)



第2回推進会議幹事会(平成31年1月30日)



堺市歴史的風致維持向上計画推進会議(平成31年2月8日)



堺市歴史的風致維持向上協議会(平成31年3月25日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

重点区域について、景観計画の取組みと連携し、歴史的風致の維持向上を図る。地域特性を踏まえた景観形成基準を策定し、都市計画法や景観法に基づく各種手法を活用するほか、景観重要建造物の指定や屋外広告物のあり方などを検討するなど、きめ細かい景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群及び周辺区域において、世界文化遺産登録も視野に古墳のあるまちとして相応しい景観づくりの一環として、平成28年に高度地区による「建築物の高さ制限」、景観地区による「建築物の色彩などの形態意匠の制限」、屋外広告物条例による「屋外広告物の大きさや高さ等の制限」を実施した。

以後、景観地区の認定申請を通して、景観アドバイザー会議等も活用し、建物の色彩等の調和を図るとともに、同区域における既存不適格広告物の適正化に向けた補助金制度を活用し、早期適正化に向けた取組みを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観地区認定申請件数

景観地区認定申請件数			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
景観地区認定申請件数	56	88	62



景観地区認定申請手続きの流れ

○屋外広告物の新たな制限に関する周知・啓発

百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する周知啓発(回数)				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
・主要幹線道路沿道へのチラシ配布等による周知啓発	829	-	98	165
・主要幹線道路関係者への個別説明ほか	156	170	114	38
・郵送等による案内(広告主、関係事業者、業界ほか)	1,365	1,508	648	677
計	2,350	1,678	860	880
合計	5,768			

○屋外広告物適正化補助金制度の活用

百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化(件数)				
	H28年度	H29年度	H30年度	合計
補助金活用	2 (1)	4 (4)	9 (9)	15 (14)
自費改修	3 (1)	8 (2)	16 (2)	27 (5)
計	5 (2)	12 (6)	25 (11)	42 (19)

※ ()は屋上広告物の適正化件数

○屋外広告物適正化事例



屋上広告物の撤去事例



屋上広告物の撤去事例



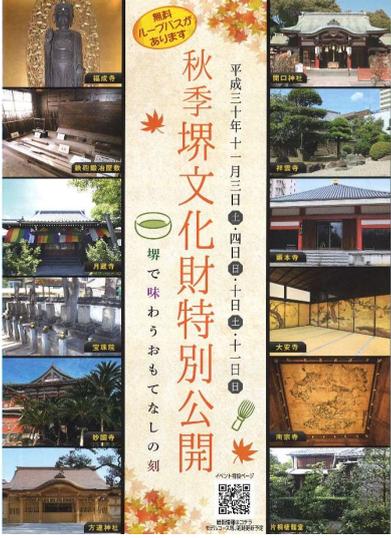
自立広告塔の改修事例



自立広告塔の改修事例

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業)		
計画に記載している内容	百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は、昨年度発掘調査を行った定の山古墳の発掘調査報告書の刊行に向けた整理作業を行った。また御廟表塚古墳の整備に向けた発掘調査を実施した。 いたすけ古墳や長塚古墳、塚廻古墳、丸保山古墳において樹木や竹の伐採など環境整備事業を実施し、墳丘の保護と視認化を図った。このことにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
御廟表塚古墳(平成30年12月)			
			
いたすけ古墳 環境整備 作業風景(平成30年8月3日)			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
重要文化財高林家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和元年度		
支援事業名	所有者 国宝・重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	屋敷地内の土蔵等については白蟻被害等が大きく老朽化が著しいため、保存修理工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
所有者、国との協議を進め、平成29年度から主屋等の修理を実施。 ○平成29年度 設計業務・保存修理工事／平成30・31年度 保存修理工事 ○平成30年度 主屋茅の葺き替え、不動堂木部補修、瓦葺き ○平成30年6月3日に修理中の現場を一般公開 これらを進めることにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
高林家住宅全景			
			
修理中の現場公開の様子(平成30年6月3日) 59名参加			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域において、歴史的街なみを構成する上で重要な鉄砲鍛冶屋敷(井上家住宅)をはじめとした歴史的価値の高い建造物について保存修理を行い、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○「堺市指定有形文化財井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)保存修理工事設計業務」着手 ○鉄砲鍛冶屋敷に伝わる歴史資料について、月2回のペースで、所有者やボランティアと共に調査を実施。 ○秋季堺文化財特別公開で建物座敷部の初公開及び資料展示(平成30年11月3・4・10・11日 参加者人数1596人) これらを実施することで各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
特別公開の様子(平成30年11月11日)		特別公開のチラシ	
			
資料調査の様子(平成31年3月7日)			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	古墳を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、地域住民を中心に市民の理解と協力が必要である。そのため、市ではシンポジウムや講演会を開催し、百舌鳥古墳群や各々の古墳について市民が学び、考える機会を創出する。また、市民ボランティアが中心となって実施する古墳の清掃・美化活動について、ホームページへの掲載等の広報活動を行い、市民と行政が協働した保存管理に向けた相互の意識醸成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
イベントなどの開催により、古墳への理解が深まると共に、古墳の保存管理に向けた市民の意識醸成が図られた。 ○平成30年4月14日(土)第3回クボタ塚感謝デー【桜塚古墳見学ツアー】(クボタ塚工場との連携) 参加人数 80人 ○ウォーキングイベントの開催 ・平成30年5月13日(日) 親子で楽しむ古墳めぐりウォーキング(塚ライオンズクラブに協力 於:大仙公園) ・平成30年8月26日(日) 大阪府立大学の学生団体「環境部エコロ助」とのクリーンウォーキング(大阪府立大学学生との連携 於:大仙公園) 参加者人数:23人 ○平成30年10月13日(土)「百舌鳥古墳群セスナツアー」を、夏休みに堺市内の小中学生を対象に募集した「古墳の自由研究」の入賞者に対して実施(教育委員会と連携 於:八尾空港) 応募総数:871点 ○平成30年10月20日(土)～平成30年12月8日(土)「百舌鳥古墳群魅力発掘講座～初めて学ぶ方のために～」(全5回)を開催 参加人数:212人(5回合計) ○市民主体の清掃活動の実施 ・平成30年11月4日(日) 第26回仁徳陵をまもり隊による清掃活動を実施(仁徳陵をまもり隊に協力 於:仁徳天皇陵古墳周辺)参加人数:375人 ・平成31年3月10日(日) 第27回仁徳陵をまもり隊による清掃活動を実施(仁徳陵をまもり隊に協力 於:仁徳天皇陵古墳周辺)参加人数:389人 ○平成31年1月12日(土)～平成31年3月2日(土)「百舌鳥古墳群魅力発掘講座 中級編 ～古墳を測るものさし～」(全5回)を開催 参加人数:428人(5回合計)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も保存管理の意識の醸成を図るため、古墳群の価値をより多くの方に理解していただけるよう、市民や民間事業者とさらに連携し、講演会やウォーキングのイベントを開催していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
第3回クボタ塚感謝デー (平成30年4月14日)	親子で楽しむ古墳めぐりウォーキング (平成30年5月13日)	大阪府立大学の学生団体 「環境部エコロ助」 とのクリーンウォーキング	
			
「古墳の自由研究」と 「百舌鳥古墳群セスナツアー」 (平成30年10月13日)	百舌鳥古墳群魅力発掘講座 ～初めて学ぶ方のために～ (平成30年10月20日～平成30年12月8日)		第26回仁徳陵をまもり隊 (平成30年11月4日)

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
堺市地域文化遺産活用活性化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和2年度		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	伝統文化の保存伝承団体等により構成される「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」(事務局:堺市文化部)が、地域文化遺産の保存伝承を目的に事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業) ○地域の文化遺産次世代継承 普及啓発事業として、堺の手織緞通や和晒・注染、手描き鯉幟など、堺の伝統的な工芸技術をはじめとした文化遺産を市民に広く普及し、理解を深めるため、町家歴史館など文化財公開施設を主な会場としてワークショップ事業を4回実施。今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が上昇するとともに、市民が地域の文化遺産を再発見し自らの地域を活性化していこうという意識醸成が図られた。 ○伝統文化継承基盤整備 記録作成事業としては、だんじりやふとん太鼓の修理過程や曳行の様子を記録に残し、後継者養成事業では、講習会等により技術や歴史文化の継承につとめた。国選択・大阪府指定無形民俗文化財上神谷のこおどり用具等整備事業など合計17事業を実施することにより、地域の伝統文化継承の基盤を整備し、地域の伝統文化を一層活性化させることができた。 「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」構成団体(平成30年度) 堺こおどり保存会・船待神社神楽子供獅子踊り保存会・美多彌神社流鏝馬保存会・堺式手織緞通技術保存協会・開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会・津久野地域伝統文化保存継承実行委員会・深井地域文化遺産総合活用推進実行委員会・美木多地域伝統文化保存継承実行委員会・湊地域伝統文化保存伝承実行委員会)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
注染ワークショップ(普及啓発事業) (平成30年8月25日)		だんじりの保存修理(用具等整備事業) 美木多地域伝統文化保存継承実行委員会(平成30年7月7日)	
			
神楽子供獅子踊り奉納(後継者養成) 船待神社神楽子供獅子踊り保存会 (平成30年9月16日)		ふとん太鼓宮入(記録作成等) 湊地域伝統文化保存伝承 実行委員会 (平成30年9月16日)	

		評価対象年度	平成30年度
		項目	現在の状況
		ボランティアガイドの育成・支援	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	(公社)堺観光コンベンション協会、NPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、歴史文化資源を中心に市内の主な観光スポットでボランティアガイドが案内を行っている。 今後、本市の歴史文化資源に関する市内外への発信等に伴い、来訪者の増加も見込まれることから、更なるボランティアガイドの育成や、月1回程度の情報交換会の実施、新たな施設の実地研修などを通じて、その知識や技能の向上に向けた取り組みを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
研修・勉強会等の実施により、ボランティアガイド全体の知識や技能が向上したほか、新たに16人の育成をおこない、来訪者対策の充実が図られた。 ○堺観光ボランティア入門講座(2回/年) 入会前:平成30年9月5日～11月21日、全15回/入会後:平成31年2月1日～2月28日、全14回 参加人数:16人 ○その他研修・勉強会 4月:26期生まれ歩き勉強会④ 参加人数:6人 展望ロビー小学生社会見学案内研修会(2日間) 参加人数:15人 5月:自転車博物館特別展勉強会 参加人数:17人 一般常識研修会(AED・防災) 参加人数:27人 三国ヶ丘市庁舎 ガイド研修(見学) 参加人数:104人 大阪府立大学植物工場研究センターのガイド研修 参加人数:25人 大阪府立大学植物工場研究センターのガイド検定 参加人数:21人 6月:日本庭園と堺市都市緑化センター勉強会 参加人数:19人 妙國寺研修 参加人数:19人 堺伝統産業会館研修 参加人数:15人 27期生フォローアップ研修(福祉会館3F第2会議室) 参加人数:9人 27期生まれ歩き勉強会① 参加人数:7人 7月:世界文化遺産推進室勉強会 於福祉会館 大研修室 参加人数:114人 古墳巡りガイド研修(JR百舌鳥駅西口集合) 参加人数:17人 27期生まれ歩き勉強会② 参加人数:7人 8月:27期生まれ歩き勉強会③ 参加人数:5人 全体研修会「大和川と堺」福祉会館 大研修室に於いて 参加人数:(暴風警報発令により中止) 9月:第2回古墳巡りガイド研修(南海高野線中百舌鳥駅南側に集合) 参加人数:(台風により中止) 午前の部 自転車ツアーガイド研修会(花と緑の交流館に集合) 参加人数:1人 午後の部 自転車ツアーガイド研修会(花と緑の交流館に集合) 参加人数:2人 27期生まれ歩き勉強会④ 参加人数:6人 第2回全体研修会「マナー研修」福祉会館 大研修室に於いて 参加人数:62人 10月:第2回古墳巡りガイド研修(南海高野線中百舌鳥駅南側に集合) 参加人数:24人 ツアーガイドの為の検定に向けて堺市博物館研修 参加人数:19人 11月:ツアーガイドの為の検定に向けて博物館研修 参加人数:17人 全体研修会「大和川と堺」(1回目)サンスクエア堺にて、参加人数:66人 12月:全体研修会「大和川と堺」(2回目)サンスクエア堺にて、参加人数:38人 会員交流会 京都府八幡市 参加人数:66人 1月:会員交流会 大阪府高槻市 参加人数:44人 阪堺線の勉強会 参加人数:18人 2月:堺観光勉強会 参加人数:28人 公開講演会「堺から仏教を変えた行基さん」 参加人数:290人 3月:全体研修会(2回) 参加人数:131人 自転車博物館研修 参加人数:21人 町家歴史館勉強会(午前・午後の部) 参加人数:41人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			



研修の様子

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
堺市地場産業振興事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物や線香をはじめとする地場産業を営む中小企業者により組織された団体の事業活動にかかる経費の一部を補助することにより、地場産業の振興を図る。 【補助対象事業】 ①地場産業振興事業 ……経営の近代化及び合理化に関する事業、販路の開拓に関する事業、各種情報の収集に関する事業 ②ものづくり基盤技術継承事業……後継者の育成に関する事業、技術・技法の記録、収集及び保存に関する事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
刃物、線香など市内地場産業6団体に対し、本補助金を交付し、事業活動を支援。イベントなどの開催を通して、地場産業のPR及び販路の拡大が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○注染・和晒の販路開拓を目的としたイベントの開催 (平成30年7月22日)			
○刃物の販路開拓を目的としたイベントの開催 (平成30年4月21～22日)			
○市内施設等での地場製品の展示 (通年)			

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
堺市伝統産業後継者育成事業補助事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物(経済産業大臣指定伝統的工芸品)や線香(大阪府知事指定伝統工芸品)などの伝統技能の継承を図るため、後継者を雇用した事業所に人件費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内伝統産業事業者に対し、本補助金を17件(28名)交付し、後継者育成を支援。このことにより、「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○刃物製造技法の指導育成			
○染色(注染)技法の指導育成			

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
堺市ものづくりマイスター制度			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業への市民等の理解を深めるため、市が卓越した技能を持つ者をマイスターとして認定し、実演・体験講座などの講師として派遣する。平成31年2月時点で対象とする刃物、線香等の部門で伝統工芸士ら22名を認定している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
マスターの実演・体験講座を通して、伝統産業への理解が深まった。 マスター派遣等件数 83件 参加人数 3,205人 (マスター派遣等の内訳 刃物44件、線香8件、和菓子27件、注染4件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○刃物体験講座			
○線香体験講座			
○和菓子体験講座			

		評価対象年度	平成30年度
項目			現在の状況
視点場の整備に関する調査検討			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	古墳あるいは古墳群を望むことができる視点場(ビューポイント)について、必要な調査検討を行う。古墳の形態的な特徴を一番理解し捉えられる場所(例えば古墳の前方部と後円部のくびれ部にある「造り出し」から上空への広がりを見める場所)や古墳あるいは古墳群の持つスケールの大きさなどを体感できる場所について調査を行い、江戸時代の絵図も参考に古墳がかつてどのように見られてきたかという視点を持ちながら、視点場としての整備が必要な箇所について、周遊路整備との整合を図りながら、その整備手法等についても検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
履中天皇陵古墳北側の視点場について、平成29年度に整備が完了。 ウォーキングマップにビュースポットとして掲載するなど、古墳群周遊路の利便性の向上にも寄与している。 その他の古墳の視点場については、引き続き調査検討中。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
視点場整備位置図			
			
履中天皇陵古墳ビュースポット		平成30年11月10日 百舌鳥古墳群魅力発掘講座	

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
まちなみ再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、改修が進められた町家歴史館「山口家住宅」をはじめとする町家のほか、多くの寺社が立地する寺町など、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺(堺環濠都市北部地区)について、歴史文化資源を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を実現する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
協議会との協働により、協議会ニュース(vol.17～vol.20)を発行したほか、地域の懐かしい行事である「地蔵盆の行灯」の作成ワークショップ、今後のまちづくりに関する意見交換会などの開催により、地域住民の歴史まちづくりにへの意識醸成が図られた。また、修景補助制度を活用した4件の町家の修景により、まちなみの再生及び魅力が向上した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○平成30年度の機運醸成等の取組み		・協議会ニュースvol.17～20	
	平成30年度の取組み(公民協働の取組み)		
平成30年4月	○第7回総会開催	 	
平成30年5月	○第1回地蔵盆の行灯作成ワークショップ開催		
平成30年6月	○第2回地蔵盆の行灯作成ワークショップ開催 ○協議会ニュースvol.17発行		
平成30年7月	○第3回地蔵盆の行灯作成ワークショップ開催		
平成30年8月	○地蔵盆開催	 	
平成30年10月	○協議会ニュースvol.18発行		
平成30年11月	○「地蔵盆の行灯」展示開催 ○昔・まちなみ歩こうイベント開催 ○<意見交換会>地域の未来を考える 開催		
平成30年12月	○第1回まちなみ勉強会(準備会) ○協議会ニュースvol.19発行		
平成31年2月	○まちなみ再生連続講座 ○今井町研修見学会 ○第2回まちなみ勉強会(準備会)		
平成31年3月	○「まちなみ修景プレート」作成 ○修景補助第13～16号工事完了 ○協議会ニュースvol.20発行		

・1回～第3回地蔵盆の行灯(あんどん)作成ワークショップ実施状況



(第1回 平成30年5月27日)



(第2回 平成30年5月24日)



(第3回 平成30年7月23日)



・地蔵盆実施状況(平成30年8月25日)



・『堺七まち町家公開(ミニまち歩き)』
(平成30年10月28日～11月3日)



・『「地蔵盆の行灯」の展示～昔の良き風情をふたたび！～』
(平成30年10月28日～11月4日、10日、11日)



・『＜意見交換会＞地域の未来を考える』開催
(平成30年11月11日)



・今井町研修見学会
(平成31年2月17日)



○平成30年度の修景事業



【おもな修景内容】

屋根及び庇の瓦葺き替え、外壁うだつ補修、虫籠窓ガラス入れ直し、銅製樋補修



【おもな修景内容】

屋根の瓦葺き替え(既存瓦撤去・下地補修・淡路瓦葺き等)、銅製樋補修等



【おもな修景内容】

下屋庇の軒先・水切銅板の改修、漆喰壁補修、焼き杉板貼り、木製格子戸等



【おもな修景内容】

屋根の軒天補修、庇補修、外壁補修(漆喰仕上げ塗り等)、格子窓補修、いぶし樋設置等

○修景事業件数

堺環濠都市北部地区修景事業件数					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
修景事業件数	1	4	7	4	16

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
阪堺線停留場美装化事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成30年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	阪堺線停留場の美装化 ・環濠都市区域内の停留場について、美装化(上屋、ホームの改修等)を実施		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○綾ノ町上り停留場について、周辺地域の景観に配慮した美装化を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・上屋の増設 ・壁の設置 ・ベンチの更新・新設 ・ホームの補修・塗装 ・植樹帯の新植・管理 ○壁の設置に併せて、ポスター掲示枠を設置したことにより、環濠都市地域内のイベントや観光案内などの情報を、利用者へ広く発信することが可能となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
綾ノ町上り停留場(施工箇所)		ポスター掲示状況 (さかい歴史まちづくりフォーラム)	

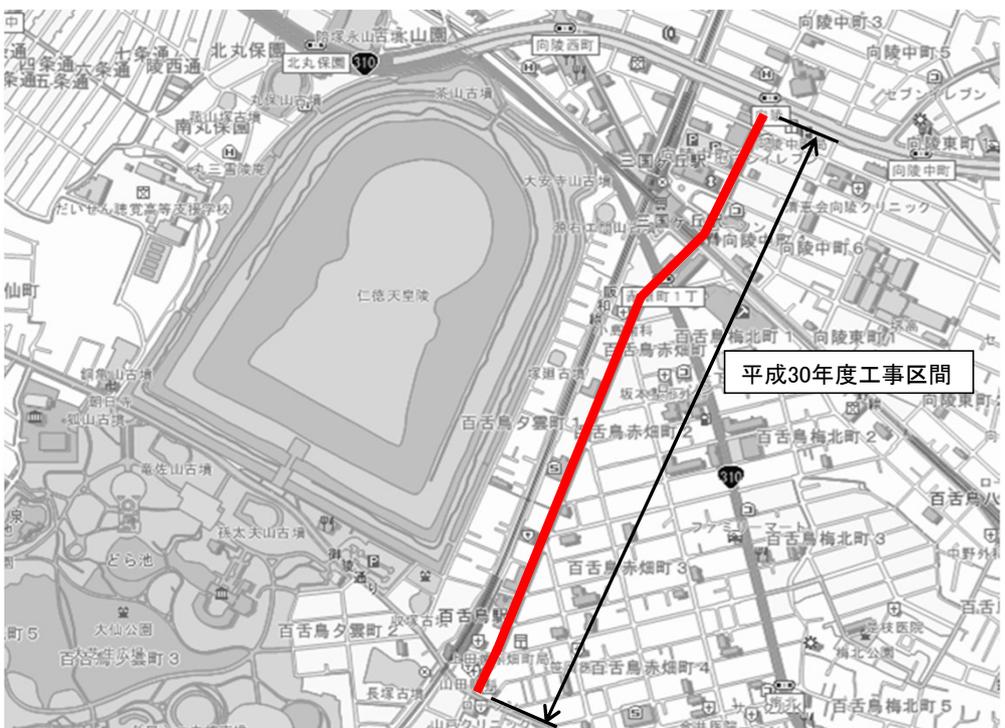
		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群に関する情報発信		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	百舌鳥古墳群を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、市民はもちろん、国内外にその価値と魅力を情報発信していく必要がある。①インターネットによる情報発信 本市のホームページにおいて百舌鳥古墳群の価値や魅力をCGなども活用し紹介する。②シンポジウムや講演会の実施 市民向け講演会や、海外からの有識者を招きシンポジウムを開催するなど、百舌鳥古墳群の価値や魅力を紹介する。③パンフレットやポスターによる情報発信 他言語によるパンフレットを作成し、関西国際空港での配架をはじめ、ポスターも作成し、様々な場所でPRを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
以下の事業を進めることで歴史豊かな堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。 ○本市ホームページを活用し、タイムリーな情報発信をおこなった。 ○各種団体、民間企業と連携したPRの実施 ・平成30年4月11日(水) アサヒスーパードライ「百舌鳥・古市古墳群デザインラベル」発売記念イベント(アサヒビール㈱、堺市民の会と連携 於:高層館21階) ・平成30年7月31日(火) 堺大魚夜市での百舌鳥・古市古墳群の世界遺産PR(堺市民の会と連携 於:大浜公園) ・平成30年9月22日(土) スターダスト☆レビュー出演の第37回世界遺産劇場～百舌鳥古墳群～における、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産PR(堺市民の会と連携 於:大仙公園) ・平成30年9月29日(土) 世界文化遺産登録推進 東京シンポジウムの開催/第8回東京さかい交流会での百舌鳥・古市古墳群の世界遺産PR(堺市民の会と連携 於:都市センターホテル) ・平成30年10月13日(土) 片岡愛之助出演の第37回世界遺産劇場～百舌鳥古墳群～における、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産PR(堺市民の会と連携 於:大仙公園) ・平成30年10月14日(日) ●堺古墳祭り▲Vol.2の開催(紙Cafe、堺市民の会と連携 於:大仙公園) ・平成30年10月21日(日) 堺まつり大パレードに世界文化遺産登録PR隊が参加(民間企業、学生等と連携 於:大小路周辺) ・平成30年10月26日(金) 中西進氏による、第37回世界遺産劇場～百舌鳥古墳群～ 記念講演会を開催(於:堺市博物館) ・平成31年1月5日(土)・6日(日) 百舌鳥・古市古墳群PRイベントを実施(百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と関西広域連合で共催 於:JR大阪駅アトリウム広場) ・平成31年3月3日(日) 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の集いの開催(堺市民の会と連携 於:堺商工会議所) ・平成31年3月16日(土) 第7回百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進シンポジウムの開催(百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と連携 於:りそなグループ大阪本社ビル) ○PRちらしやポスターを作成し、PR効果が見込める場所に配架・掲出を行った。 ○スマートフォン向けの周遊支援アプリを作成。(平成31年3月21日運用開始)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来年の世界文化遺産登録の実現に向けて、市内のみならず、府内はもとより、関西、全国へと百舌鳥古墳群をPRする必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
「百舌鳥・古市古墳群デザインラベル」発売記念イベント(平成30年4月11日)		第37回世界遺産劇場～百舌鳥古墳群～における世界遺産PR	
			
堺まつり大パレードに世界文化遺産登録PR隊が参加(平成30年10月21日)		JR大阪駅アトリウム広場での百舌鳥・古市古墳群PRイベント(平成31年1月5・6日)	
			
		●堺古墳祭り▲Vol.2(平成30年10月14日)	
		百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の集いの開催(平成31年3月3日)	

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群周遊案内板の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	百舌鳥古墳群に親しみながら周遊できるよう、来訪者の利用が見込まれる鉄道駅や周遊ルートで、市内外からの来訪者にとってわかりやすい案内板の設置計画を策定し、整備に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
古墳解説板及び誘導案内板の整備により、古墳への理解及び周遊路による周遊性が向上した。 ○古墳解説板 平成30年度中に36基設置 ○誘導案内板 平成30年度中に18基設置			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存のサインを含めた意匠の統一 古市古墳群とのサイン統一		
状況を示す写真や資料等			
サイン位置図 (設置予定を含む) 		<p>菰山塚古墳解説板</p>	
		<p>仁徳天皇陵古墳解説板</p>	
		<p>履中天皇陵古墳解説板</p>	
		<p>誘導案内板</p>	

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	市民や来訪者に百舌鳥古墳群の歴史的意義や価値を理解していただき、古墳群の保護意識を醸成するため、古墳群について学び、その雄大さを体感できるガイダンス施設を大阪府立大学旧大仙キャンパス跡地に整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成29年度に、(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設建設工事実施設計及び展示設計が完了したが、ガイダンス施設が構成資産の直近で行われる開発事業にあたることから、イコモスの審査結果を確認した上で事業を進めるため、着工時期を平成30年度からイコモス勧告以降の令和元年度に見直し、竣工時期が1年遅れることとなった。 ○遺産影響評価(施設が百舌鳥・古市古墳群の価値に与える影響を評価する手続き)を実施し、影響が軽微であることを確認した。 ○新たなアクセス道路の関係地権者と用地取得及び用地交渉を実施。 ○堺市博物館内に設置の百舌鳥古墳群ガイダンスコーナーで、高精細な映像による来訪者向けガイダンスを実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	イコモスの審査結果をふまえて進める必要があるため、令和元年5月に予定されているイコモスの勧告以降に着工する。		
状況を示す写真や資料等			
○(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設			
 <p style="text-align: center;">(外観イメージ)</p>		 <p style="text-align: center;">(内部イメージ)</p>	
○百舌鳥古墳群シアター			
 <p style="text-align: center;">(外観)</p>		 <p style="text-align: center;">(内部)</p>	
 <p style="text-align: center;">百舌鳥古墳群展示コーナー</p>			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
環濠都市区域内における案内板の改善		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	神社や寺院を中心に設置している既存の施設案内板について、見やすさや分かりやすさなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化を行い、歴史文化資源などの魅力発信と目的地への円滑な移動を誘導する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
環濠都市区域内にある観光誘導案内板の修繕(神明町東(2)・神明町東(4)・九間町東・宿屋町東の4箇所)を実施することにより、来訪者が快適に周遊できる受入環境の向上に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
観光誘導案内板(修繕前)		観光誘導案内板(修繕後)	

		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
史跡・重要文化財等公開事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成10年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	非公開の史跡や重要文化財の公開等を実施し、また歴史文化についての講座を開催し、広く市民に文化財の普及啓発を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成30年秋季堺文化財特別公開 ・開催日程:平成30年11月3日(土・祝)・4日(日)及び11月10日(土)・11日(日)の4日間 ・公開箇所:福成寺(初公開)、鉄砲鍛冶屋敷、月蔵寺、宝珠院、妙國寺、方違神社、開口神社、祥雲寺、顕本寺、大安寺、南宗寺、片桐棲龍堂、伸庵 の13箇所 ・来場者数:42,943人(関連施設含む)、8,154人(公開箇所のみ) ○平成31年春季堺文化財特別公開 ・開催日程:平成31年3月29日(金)～31日(日)の3日間 ・公開箇所:法雲寺、紅谷庵、鉄砲鍛冶屋敷、宝珠院、妙國寺、方違神社、超善寺、旧天王貯水池、宿院頓宮、妙法寺、南宗寺、海会寺、伸庵 の13箇所 ・来場者数:25,416人(関連施設含む)、7,960人(公開箇所のみ) これらの事業を進めることで文化財への理解が深まり、歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
春季文化財特別公開(法雲寺)		秋季文化財特別公開(福成寺)	
			
春季文化財特別公開(超善寺)		秋季文化財特別公開(月蔵寺)	

		評価対象年度	平成30年度
項目			現在の状況
自転車通行環境の整備			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	歩行者・自転車利用者の安全を確保するため、自転車通行環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○市道三国ヶ丘百舌鳥線における自転車レーンの整備 (平成30年度実施1.1km/計画延長1.1km)をおこなうことにより、自転車通行環境の向上が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">三国ヶ丘百舌鳥線位置図</p>			
 <p style="text-align: center;">施工前</p>		 <p style="text-align: center;">施工後</p>	

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
<p>学校教育の場での茶の湯体験(堺スタンダード事業)</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが「茶の湯」の体験を通じて、自国の伝統文化を知るとともに、茶道において大切にされている「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心を育むことをねらいとして「茶の湯体験」を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は小学校93校、中学校27校で茶の湯体験を実施。 平成29年度は小学校91校、中学校29校で茶の湯体験を実施。 平成30年度は小学校91校、中学校27校、支援学校2校で茶の湯体験を実施。伝統文化に触れる機会を創出し、茶の湯への理解と意識の醸成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
三原台小学校での体験状況(平成30年11月12日)			

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	指定および登録等の候補となる文化財に関する調査を継続する。市域の文化財の総合的な把握をより推進するとともに、文化財指定等を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成30年11月2日 「旧丹治商会社屋他」を国登録有形文化財に登録 ○平成31年2月22日 「本願寺堺別院本堂他」「木造千手観音立像」「行基菩薩画像」を堺市指定文化財に指定 これらを進めることで、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用に繋がる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
本願寺堺別院本堂他		旧丹治商会社屋他	
			
木造千手観音立像(梶自治会蔵)		行基菩薩十三歳画像(華林寺蔵)	

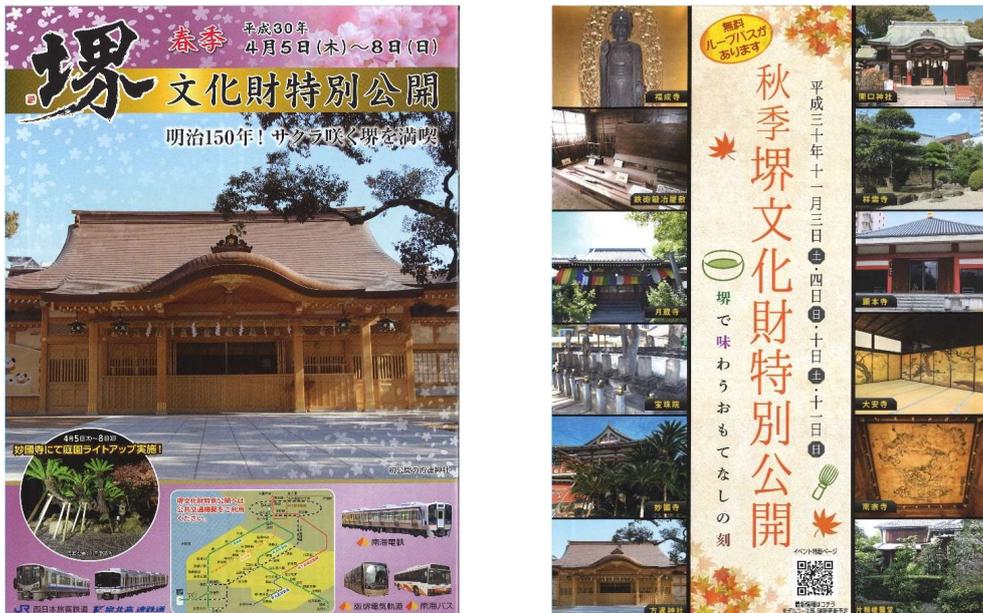
		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	町家等の歴史的建造物を指定の基準に沿って歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等の意向や建造物の損傷状態の調査を行い、保存・修理・修景に対する助成を行う。 百舌鳥古墳群では、平成28年度より整備基本計画の策定に着手し、古墳の修景や復元等の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
以下の事業を進めることで文化財への理解を深め、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。 「百舌鳥古墳群整備事業」(再掲:評価軸③-1:P3を参照) 「重要文化財高林家住宅保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P4を参照) 「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P5を参照) 「視点場の整備に関する調査検討」(再掲:評価軸③-1:P12を参照) 「まちなみ再生事業」(再掲:評価軸③-1:P13を参照) 「百舌鳥古墳群周辺案内板の整備」(再掲:評価軸③-1:P16を参照) 「百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備」(再掲:評価軸③-1:P17を参照) 「環濠都市区域内における案内板の改善」(再掲:評価軸③-1:P18を参照)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
御廟表塚古墳 調査風景(平成31年2月4日)			
			
修理中の現場公開の様子(平成30年6月3日)			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財を災害から保護するため、防災意識の高揚、防災設備等の整備を図り、住民、文化財の所有者又は管理者等に対する防災意識の普及と啓発を進めるとともに、消防局並びに関西電力株式会社、大阪ガス株式会社と連携を行い、定期的に防災設備の保守点検等や啓発に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーの実施(所轄消防署、関西電力、大阪ガス 文化財課 合同査察実施) ○平成31年1月24・25日 指定文化財寺社等 26箇所 指定有形文化財について防犯設備の設置を検討した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
平成30年度 文化財防火デーの様子(平成31年1月25日)			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取り扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為の実施にあたっては、開発に伴う文化財保護法に基づく届出又は通知の提出を徹底するとともに、開発に際して埋蔵文化財を確認した場合には、工法の検討や、計画変更によって埋蔵文化財の地下保存などの措置を協議し、遺構の保護に努めるほか、やむを得ない場合は、記録保存などの対応についても速やかに実施していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内には堺環濠都市遺跡、土師遺跡などの埋蔵文化財包蔵地があり、開発に対しては、文化財保護法による届出または通知に基づき適切に指導している。			
平成30年度は、百舌鳥古墳群の中にある御廟表塚古墳において、発掘調査を実施した。調査では周濠の範囲を確認できた。また堺環濠都市遺跡では中世の建物跡、道路等を確認した。また宮内庁書陵部による「仁徳天皇百舌鳥耳原中陵(大山古墳)第1堤における事前調査」に協力した。			
これらを通して、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
堺環濠都市遺跡 調査風景(平成31年2月1日)			
			
御廟表塚古墳 調査風景(平成31年2月4日)			

		評価対象年度	平成30年度
項目			現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組み、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本市の文化財の価値を広く後世に伝えるため、文化財の活用を進めながら、観光ボランティアガイドをはじめとする各種団体等と連携を行い、普及・啓発するための機会の提供に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
百舌鳥古墳群講演会の開催(平成31年2月17日開催 参加者数:700人) 「市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み」(再掲:評価軸③-1 P6を参照) 「堺市地域文化遺産活用活性化事業」(再掲:評価軸③-1 P7を参照) 「ボランティアガイドの育成・支援」(再掲:評価軸③-1 P8を参照) 「百舌鳥古墳群に関する情報発信」(再掲:評価軸③-1 P15を参照) 「史跡・重要文化財等公開事業」(再掲:評価軸③-1 P19を参照) これらの取組を通して歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の一層の発信と共有に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



史跡・重要文化財等公開事業堺文化財特別公開パンフレット



百舌鳥古墳群講演会(平成31年2月17日)

		評価対象年度	平成30年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
環濠都市 区域関連	背中についだ金太郎 端午の節句を前に、長さ約7mのこのぼりが、堺市立町家歴史館「山口家住宅」(堺区)で展示	平成30年5月1日	読売
	「堺事件」11人切腹の地 妙国寺(堺区)	平成30年5月3日	毎日
	堺と世界 貿易語る地図	平成30年5月11日	読売
	まちづくりに茶の湯精神 もてなしの心育む 堺市条例素案「堺茶の湯まちづくり条例」8月議会に提案	平成30年5月17日	読売・産経・日経
	与謝野晶子 未発表の和歌	平成30年5月23日	MBS毎日放送
	世界が切れ味に注目! 日本の”匠の技”和包丁	平成30年5月26日	ABCテレビ
	伝統 梅雨に夏に大活躍! 大阪発祥”注染手ぬぐい”	平成30年5月31日	読売テレビ
	どうなる茶の湯条例	平成30年6月4日	産経
	住吉祭 神輿渡御を見学	平成30年8月20日	読売
	堺環濠エリア 魅力写真で	平成30年9月17日	読売
	<外国人が買いに来る! ご当地土産ベスト30>11位は堺の打刃物	平成30年9月29日	ABCテレビ
	堺刃物 欧州市場切り開け 高品質 シェフにPR パリ見本市へくじ引きで選ばれた切腹 堺事件 一維新150年	平成30年10月5日 平成30年10月13日	読売 産経
	包丁の街堺で創業110年以上の歴史をもつ専門店「JIKKO/實光刃物」	平成30年10月22日	ABCテレビ
	「ペロタクシー」試験運行へ 堺伝統の自転車で観光スポット巡り	平成30年11月2日	産経
	『ココらぼR』堺で楽しく、まちめぐり～!	平成30年11月1日 から11月15日	J:COMチャンネル
	『大阪テンチン電車物語』～路線に刻まれた光と影～	平成30年11月22日	ABCテレビ
堺の鉄砲 繁栄の歩み	平成31年1月20日	毎日	
鉄砲製造の堺 世界へ	平成31年1月30日	毎日	
子供らが包丁作りなどに挑戦 堺で職業体験イベント	平成31年2月18日	産経	
百舌鳥古墳群 周辺区域関連	2018 堺シティマラソン 4月29日開催 大仙公園と仁徳天皇陵古墳の周辺	平成30年4月2日	産経
	「古墳群」世界遺産へ ビール飲んで応援を	平成30年4月13日	毎日新聞
	国史跡に追加指定 御廟山古墳内濠・墓山古墳(百舌鳥・古市古墳群)	平成30年6月16日	産経
	雑記帳(須恵器のタンブラーがふるさと納税の返礼品)	平成30年6月18日	毎日新聞
	月見祭 魅力をアピール	平成30年7月2日	産経
	世界遺産劇場 10月13日に開催	平成30年7月31日	産経新聞
	百舌鳥・古市古墳群のオリジナル切手	平成30年8月9日	NHK総合
	堺市観光客 初の1000万人 古墳群人気7%増	平成30年9月2日	産経
	古墳群 イコモス観察 世界遺産へ「一定の理解」	平成30年9月18日	ABCテレビ
	世界遺産へ盛り上げ スタレピコンサート	平成30年9月23日	産経新聞
	世界遺産へ機運高め 堺市などは14日、大仙公園(堺区)で「堺古墳祭り」を開く	平成30年10月13日	朝日
	仁徳天皇陵 初の共同調査	平成30年10月18日	関西テレビ
	「仁徳天皇陵」前に…新交番の開所式	平成30年10月29日	MBS毎日放送
	雑記帳(百舌鳥古市古墳群の年賀はがき発売)	平成30年10月31日	毎日新聞
「仁徳天皇陵」埴輪・石敷きみつかる	平成30年11月22日	NHK総合	
ニサンザイ古墳内濠追加 国の文化審議会は国指定史跡に	平成30年11月28日	産経	
仁徳天皇陵 清掃に地元住民ら400人	平成31年3月11日	産経	
その他	自転車観光は南へ 和歌山県や堺市、琵琶湖に続け	平成30年5月2日	日経
	伝統の技 注染職人めざましせんか	平成30年5月4日	産経
	古い駅舎がカフェに! 浜寺公園駅が変身	平成30年5月9日	ABCテレビ
	平成30年 秋季堺文化財特別公開	平成30年11月1日	NATTS11月号
	平成30年 秋季堺文化財特別公開-堺で味わうおもてなしの刻-	平成30年11月1日	京阪神の近くて、いい旅。電車&ウォーク
	明治の3灯台解説	平成30年11月18日	毎日
	大阪・堺市では“やっさいほっさい”という火渡り神事	平成30年12月15日	MBS毎日放送
手描きこいのぼり制作がピーク	平成31年2月19日	時事通信	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致の維持及び向上に記載される事業が行われ報道されることで、市民の歴史的風致に対する関心・認識が高まり「歴史遺産の保存・活用」への啓発に寄与していることが推察される。			
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
□計画の進捗に影響あり			
■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目
文化観光拠点整備事業関連の取組み

計画に記載している内容
茶の湯体験等の地域固有の歴史・文化資源について、市内外を問わず数多くの人々が触れ、感じ、共感してもらえる機会を創出することにより、堺の歴史・文化資源が持つ魅力を再認識し、さらなる意識醸成に繋がるなど、その波及効果が期待できることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

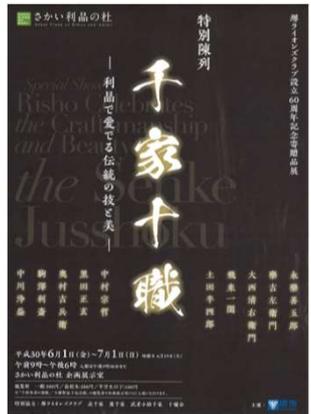
○千利休を祖とする表千家・裏千家・武者小路千家の三千家に出入りを許された職人集団「千家十職」の茶道具を展示し、千利休の時代から現代まで継承されてきた各職家の技と美に触れる機会を創出する企画展「千家十職一利晶で愛でる伝統の技と美」を開催(平成30年6月1日～7月1日)
○幕末から明治にかけて大きく変化する時代の流れの中で茶の湯の復興に尽力した三千家宗匠の功績を振り返る企画展「茶の湯の復興一幕末・明治の千家茶道を中心に」を開催(平成30年9月14日～10月21日)
○「堺茶の湯まちづくり条例」の制定を記念して、堺が生んだ偉大な先人「千利休」が大成した茶の湯文化及び堺の貴重な伝統的産業である和菓子の魅力を広く発信する「第2回堺W-1(和菓子ワン)グランプリ」を開催(平成30年11月3日)
これらの取組から歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○イベントパンフレット



企画展「千家十職一利晶で愛でる伝統の技と美」
(平成30年6月1日～7月1日)



企画展「茶の湯の復興一幕末・明治の千家茶道を中心に」
(平成30年9月14日～10月21日)。

○第2回堺W-1グランプリの開催(平成30年11月3日)



パンフレット



イベントの様子

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目		
堺茶の湯まちづくり条例の制定		

計画に記載している内容	<p>「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」 「茶の湯」の文化を尊重し、本市の大きな魅力の一つとして「おもてなし」の心を常に持ち続けることが、歴史的風致維持の向上を目指す上でも非常に重要である。</p>
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

堺では、広く茶の湯を楽しむ文化が連綿と受け継がれ、茶の湯は今でも多くの市民の皆様へ愛されており、そのような中で、茶の湯の文化を振興することによる、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を目的として、平成30年10月1日に「堺茶の湯まちづくり条例」を制定した。

このことで歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

	状況を示す写真や資料等
--	-------------

○条例リーフレット

堺茶の湯まちづくり条例が施行されました
 ー堺市は茶の湯の文化を振興しますー

茶の湯の文化とは、茶の湯において重んじられている、互いを敬い、思いやりの心を持ち、美しい時間及び空間を大切にする事です。

堺では、中世、千利休をはじめ、今井宗久や津田宗及など優れた茶人の生まれ、また、広く茶の湯が嗜まれていました。茶の湯を楽しむ文化は連綿と受け継がれ、茶の湯は現代においても多くの皆様へ愛されています。これらから茶の湯を楽しむ文化が大切に育まれてきた堺を誇りに思うとともに、これを次世代に引き継ぎ、茶の湯の文化が息づくまちをめざしてまいります。

堺市では、茶の湯の文化を市民の方々、事業者の方々と共に振興することで、おもてなしの心や思いやりに溢れる、人にやさしいまちづくりを進めます。

堺茶の湯まちづくり条例 平成30年10月1日施行

文化 誰もが気軽に茶の湯を楽しめるまち	教育 次代を担う子どもたちが思いやりの心を持てるまち
観光 観光客がいつでも茶の湯を楽しめるまち	産業 茶の湯に関連する伝統産業が振興されるまち

堺茶の湯まちづくり条例

堺は、中世、世界に開かれた貿易都市として発展を遂げるとともに、開港が治める自由・自由都市として繁栄し、近頃の発展に輝きあふれていた。その中で、今年宗久、津田宗及、千利休等の多くの優れた茶人が生まれ、なかでも千利休は、わび茶を大成し、茶の湯に大きな足跡を残した。また、当時の茶湯道が明神宮前通の各所で数多く発掘されていることから、豪商など一部の者に限らず、広く茶の湯を楽しむ文化が根付いていたといえる。

茶の湯は、美術、工芸、書道、茶花、料理、菓子等の幅広い分野にわたるものであり、世界に誇るべき日本の文化として誇りと誇りに感じている。

堺では、現在においても、市民、事業者等によって様々な場面で継承されるなど、茶の湯を楽しむ文化が受け継がれている。私たちは、これらからも、茶の湯を楽しむ文化が大切に育まれてきた堺を誇りに思うとともに、これを次世代に引き継いでいかなければならない。

ここに、茶の湯の文化が息づくまちをめざすことを決意し、この条例を制定する。

【目 的】
 第1条 この条例は、市、市民等及び事業者が連携及び協力し、本市において茶の湯の文化を振興することにより、市民の豊かな心の醸成及び都市能力の向上に寄与することを目的とする。

【範 疇】
 第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 市民等 本市の区域内（以下この条において「市内」という。）に居住し、又は市内に所在する学生、事業者等に該当し、若しくは通勤する者をいう。

(2) 事業者 市内において事業活動を行うものをいう。

(3) 茶の湯の文化 茶の湯において重んじられている、互いを敬い、思いやりの心を持ち、美しい時間及び空間を大切にすることをいう。

【市の役割】
 第3条 市は、文化、教育、観光、観光、産業等において、茶の湯の文化の振興に係る施策を実施するものとする。

【市民等の協力】
 第4条 市民等は、市が実施する茶の湯の文化の振興に係る施策に協力するよう努めるものとする。

【事業者の協力】
 第5条 事業者は、市が実施する茶の湯の文化の振興に係る施策に協力するよう努めるものとし、自ら茶の湯の文化の振興に努めるものとする。

【連携及び協力】
 第6条 市、市民等及び事業者は、連携及び協力をし、茶の湯の文化を生かしたまちづくりの推進に努めるものとする。

附 則
 この条例は、平成30年10月1日から施行する。

発行所
 堺市 文化観光局 文化部 文化課
 〒590-0078 堺市東区南門1番1号
 電話：072-228-1143 FAX：072-228-8174
 E-mail: sakai@city.sakai.lg.jp



茶の湯体験(平成30年10月25日)

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目
 堺環濠活性化事業
 (堺環濠町づくり推進協議会との公民連携による取り組み)

計画に記載している内容
 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
 市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

堺環濠エリアの歴史文化の継承とともに新たな魅力を創出し、生活する人も訪れる人も愛着が持てる活気ある堺の実現に向けて、本市と地域のまちづくり団体等で構成される「堺環濠町づくり協議会(通称:環濠茶論)」を平成29年3月に設立した。協議会事業としてSNSを活用した情報発信やイベントの開催など、堺環濠エリアの認知度向上や市民意識の醸成に向けて取り組んだ。

○平成29年度の取り組み

- ・平成29年11月 Instagram開始
- ・平成29年12月 リーフレット「堺環濠まちめぐり」発行
- ・平成30年2月 Facebook 開始 (Instagramに連動)
- ・平成30年2月 HP開設
- ・平成30年3月 観光支援アプリ「CanGo！」を配信開始

○平成30年度の取り組み

- ・平成30年3月から4月 ウォークラリー開催(スタンプが押された総数:528)
- ・平成30年9月 twitter開始 (Instagramに連動)
- ・平成30年9月から11月 フォトコンテスト開催(応募総数:224枚)
- ・平成30年11月17日 散策イベント開催(参加者数:12名)
- ・平成30年10月から12月 ウォークラリー開催(スタンプが押された総数:523)

○Instagram 投稿数:192、フォロワー数:336、総リーチ数:38,260 (平成31年3月末時点)

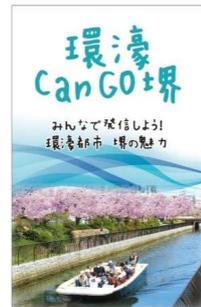
これらの取組を実施することで歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有を図った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○リーフレット「堺環濠まちめぐり」など



○ウォークラリーチラシなど



	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目
大道びと Plus more プロジェクト

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市民活動団体EXSA.(Exciting SAKAI.)と協働で大道筋(綾ノ町から御陵前での区間)の魅力の向上をめざす公募提案型協働推進事業「大道びと Plus more プロジェクト」を実施した。
○観光客などに向けて、大道筋周辺の神社仏閣の住職からのお話や、堺を感じる食事などを体験できる「堺asobi」を提供し堺の魅力を発信した。(平成30年3月受付開始。利用者数:212人(平成31年2月末時点))
○各種イベントと連携し、「堺asobi」体験版を実施した。
・秋季堺文化財特別公開(78人 平成30年11月)・FAMツアーに合わせた実施(30人 平成30年11月)・クラブツーリズム主催ウォークイベントに合わせた実施(250人 平成30年12月)
○大阪観光局を海外の富裕層旅行者対象ツアー誘致に向けた「堺asobi」を考案中である。
○実際の空き物件や地域資源をもとに、まちの需要者(地域の人)と供給者(新規事業者)が「周辺エリアの特性を活かした空き家、空き店舗のリノベーション」をテーマに一緒に学び、話し合う「大道筋まちのデザインCafe ～物件とまちの利活用～」を実施。平成30年7月に第2回「大道筋まちのデザインCafe」として、新規で創業を希望している方が実際に物件を活用したイメージをプレオープンという形で実証実験を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	○堺asobi 実施施設となる神社仏閣の確保 → 各寺社においてプランの提案・連携 集客 → 海外サイト等での周知・PR ○大道筋まちのデザインCafe 新規創業者の受け入れ方法 → 窓口となる運営団体の法人化 空き物件および物件オーナーの確保 → 空き物件の把握

状況を示す写真や資料等

○「堺asobi」パンフレット



○まちのデザインカフェの様子(平成30年7月8日)



	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目
子ども観光ガイドの実施

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
古くから受け継ぎ、洗練してきた歴史・文化資源を大切に、さらに将来へと引き継ぐためには、市民が堺固有の歴史・文化を十分に理解し、共感し、さらに誇りを持つことが不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

子どもの頃から郷土に関心を持ち、その魅力に気づくことによって、郷土愛を育み、おもてなしあふれるまちをめざすことを目的に、NPO法人堺観光ボランティア協会の協力のもと「子ども観光ガイド体験」を実施した。堺区の小学生が、観光客や地域の方などに対し、仁徳天皇陵古墳や地元の魅力などについてガイドを行った。子どもたちは地元のおすすめスポットの紹介なども織り交ぜながら、自作のフリップや写真などを用いたり、クイズ形式を取り入れたりする工夫をして訪れた人に説明を行った。

- 第1回:平成30年7月大仙小学校6年生75人が実施
- 第2回:平成30年11月大仙小学校3年生91人が実施

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	子ども観光ガイドを実施する学年やガイド時期について検討し、次年度以降も小学校と協議しながら実施する。

状況を示す写真や資料等

○こども観光ガイドの様子



第1回平成30年7月18日



第2回平成30年11月8日

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目
自転車タクシー走行実験の実施

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○堺の伝統産業である「自転車」を活用し、区内の回遊性を高め、地域の活性化に資することを目的に、自転車タクシーの走行実験を実施した。
(実施期間:平成30年11月3日～12月24日のうち土・日曜日を中心に10日間、利用者数:130組(244人))
○自転車タクシー走行実験公開報告会および自転車タクシードライバー体験会を実施し、運行に係る課題や可能性などについて情報を共有し、意見交換を行った。報告会の後、実際に自転車タクシーの運転を体験していただいた。
(参加者:20人(区民、まちづくり関係者、大学生、自転車関連企業社員 等))

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	ドライバーおよび担い手の確保 → 主体となる団体の育成 国産(堺産)車両の確保 → 区内にあるものづくり企業との連携 道路交通法・規則等の遵守 → 車両の開発段階からの警察協議
---	--

状況を示す写真や資料等

○自転車タクシー走行実験の様子



	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目
「SAKAI散走」の実施

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

散歩するようにゆっくりと自転車で、点在する名所や旧跡などを巡る「SAKAI散走」を実施することにより、堺の歴史や文化に触れるきっかけづくりやまちを巡ることでの回遊性向上及びまちの賑わいの創出を図る。また、散走を通じてあらためて自分のまちの良さや魅力に気づき、個々に伝えていくことでまちの活性化及び継続したまちづくりにつなげていくことを目的とした講座を開催。

- 平成30年6月17日：百舌鳥古墳群めぐり散走の実施(主催：堺 自転車のまちづくり・市民の会)
- 平成30年10月1日：SAKAI散走アンバサダー養成講座の開催(主催：堺市中心市街地活性化協議会)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した取組みを進めるための組織作り ・人材育成
---	--

状況を示す写真や資料等

○百舌鳥古墳群めぐり散走の実施(平成30年6月17日)



○SAKAI散走アンバサダー養成講座の開催(平成30年10月1日)



	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目
さかい歴史まちづくりフォーラムの開催

計画に記載している内容
 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
 市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

堺市歴史的風致維持向上計画の取り組み内容について、情報発信するとともに、歴史文化資源の魅力を感じてもらうため、「さかい歴史まちづくりフォーラム」を開催した。
 ○開催日時:平成31年2月3日(日)13時~15時
 ○開催場所:さかい利晶の杜
 ○プログラム
 ・第1部:堺の歴史文化資源を活かした取り組みについて(堺市 文化財課)
 ・第2部:堺の歴史文化資源とその魅力(パネリスト:小野 晃蔵、安井 寿磨子、狭間 恵三子)
 ・第3部:茶の湯体験
 ○参加者数:70人
 このことにより、歴史的風致への理解が深まり、歴史的風致を活かしたまちづくりが推進されるとともに、歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○さかい歴史まちづくりフォーラムのチラシ



○さかい歴史まちづくりフォーラムの様子



評価対象年度 平成30年度

項目

リーフレット「堺の歴史的風致 まなびのススメ」の作成

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○市内外の方に堺の歴史に関心を持っていただくため、堺の歴史的風致を分かりやすく説明するとともに、重点区域での取り組み成果や周辺の見どころをまとめた「堺の歴史的風致 まなびのススメ」を作成した。
○今後、さかい利晶の杜や町家歴史館山口家住宅等での配架や、近畿歴史まちづくりサミットを始めとしたイベントでの配布などを通じて歴史的風致維持向上計画の周知を図っていく。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○リーフレット「堺の歴史的風致 まなびのススメ」



評価対象年度		進捗評価 平成30年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称: 堺市歴史的風致維持向上協議会		
会議等の開催日時: 平成31年3月25日午後3時00分から5時00分まで		
(コメントの概要)		
<p>○町並みとか町家とか景観とかを残そうと整備をしていくと、普通の新築住宅でも景観への配慮が必要であると理解していただけるようになる。</p> <p>○今年の世界遺産登録の年であるから、登録されてからも機運醸成のため、シンポジウムなども丁寧にやっていくといいと思う。</p> <p>○古墳と環濠を自転車で周遊していただくためには、本格的周遊路の整備を視野に入れていかないといけない。自転車レーンは事故も多いため、交通量や幅員も見ながら本格的な周遊路の整備を中長期的に考えていかないといけない。</p> <p>○古墳周遊について、来訪者の移動手段と求める情報量は連動しているということを意識して展開するのがよい。</p> <p>○地点整備をどう考えていくのか。そこにいることが大きな意味を持つような整備が必要。</p> <p>○百舌鳥古墳群が世界遺産になればオーバーツーリズムの問題が生じるかもしれない。外国の方にどのようにして必要なマナーなどを伝えるか考えるべき。</p> <p>○住んでいる人が古墳のそばに住んでいることの楽しさというか、古墳と共に暮らす景観のあり方とかを考え、新しい住み方としての歴史の折り合いや古墳の折り合いが風景を作っていくような、そういうものの考え方をしたい。</p> <p>○環濠エリアとして、ソフトや収益性なども組み込んでまちづくりを進める必要がある。</p> <p>○ハード整備は着実に進んでいるが、歴史的風致維持向上計画は、むしろ活動であったり、重点地区だけではない底上げ、地域の価値をいかにつないでいくかということが重要である。</p> <p>○歴まち計画も中間年が終わり、今後どういった事業に力を入れていくのか検討していくような時期ではないか。</p> <p>○歴史まちづくりの取組みを進めていくことがSDGsにどう貢献していくのかということを考えていくのが重要である。</p>		
(今後の対応方針)		
<p>○百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を見据え、機運醸成に向けた情報発信等に努めるとともに、周遊環境の向上に取り組む。</p> <p>○環濠都市区域の魅力向上に向けて、歴史的建造物の活用に合わせて、地域住民とも協力しながら、まちなみの再生に取り組む。</p> <p>○引き続き、本市の歴史的風致やこれまでの取組みについて、近畿歴史まちづくりサミットなどの機会を捉えてわかりやすく情報発信していく。</p>		